

激動の時代を生き抜く  
経営者のための勉強会

# 哲学&アートゼミ YOKOHAMA

V「変化」 U「不確実」 C「複雑」 A「曖昧」 時代は  
「答えのない問い」を 問い続けなければなりません

『問い』とは 哲学です 経営に 哲学はありますか？

本ゼミでは 「哲学」で 本質観取力を鍛えます

「アート」で 直観力を磨きます

「ユーモア」で 創造力を育みます

経営は「決断」の連続です

「直観力」が求められます

変化の時代は「理念の再定義」が必要です

本ゼミでは 『真・善・美』 を問い

『対話』で 思考を掘り起こし

『アート』と『ユーモア』で 思考を横展開します

## <ビジネス環境の変化>

中小企業をとりまくビジネス環境が一変しつつあります。デフレからインフレへと時代は大きく転回し、多くの中小企業が40年ぶりのコスト高に悩まされている中、円安は急進し、金融政策・財政政策もいよいよ変更を余儀なくされようとしています。さらにはカーボンニュートラルをはじめとする地球史的課題も容赦なく中小企業にその対応を迫ってきています。

今経営者に必要とされるものは .....

正しい情報



情報を  
読み解く力



幅広い分野と  
つながる  
ネットワーク



ゼミへ参加することで、「3つの力」を鍛えられます。

読む力

×

問う力

×

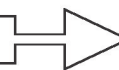
つなぐ力

- ・時代を読む
- ・経営環境を読む
- ・景気の先を読む

- ・自社の提供する商品やサービスの意味を問う
- ・自社の存在価値を問う
- ・会社の革新力の源泉

- ・他社との連携で知恵やノウハウをつなぐ
- ・付加価値の創造

カリキュラム詳細は裏面へ



山口義行

立教大学名誉教授。2018年3月まで外務省参与として中小企業の海外展開、関東経済産業局「新連携支援」政策の事業評価委員長として中小企業連携支援にかかわる。2008年以降「中小企業サポートネットワーク」の主宰として、中小企業への的確な情報の提供、経営者が主体的に参加する勉強会の開催など積極的に中小企業支援活動を展開している。



川島和仁

東京都内信用金庫で支店長、企画部、融資部などを歴任（勤続30年超）。異分子と疎まれながら孤高奮闘したが経営陣の強い圧力による不当処分を受ける。金融機関の中小企業への対応の物足りなさを実感し金融機関の改革を志したが、何も聞かない、何もしない、何も言わない組織に断念。現在は、哲学とアートと経営の関係や「人」「金」「もの」の視点から経営を考える、をテーマに勉強中。



# 哲学 & アートゼミ YOKOHAMA 第13期

## カリキュラム

2024  
10/15

ビジネスの限界は  
アートで超える!



アート・アンド・  
ロジック  
株式会社  
増村岳史氏

ビジネスとアート、経営とアート変化が激しく、複雑で不確実性が高い今日のビジネス環境において、これまでの知識や論理的思考・分析のみに頼った思考や意思決定では限界があります。アートシンキング(アートが持つ思考法)による新たな価値創造の概念および思考法、そして企業での実例を中心にお話をさせていただきます。

2024  
11/12

「エフェクチュエーション  
不確実な状況での戦略」



株式会社スナック  
レモネード  
谷口千鶴氏  
&  
株式会社たこ八  
垣内健佑氏

エフェクチュエーションは、起業家が不確実な状況でどのように成功を導くかを説明する手法です。既存のリソースを最大限に活用し、柔軟に対応することで、新しいビジネスチャンスを生み出します。この講演では、エフェクチュエーションの基本原則とその実践方法を具体的な事例と共に紹介いたします。ビジネスの現場で即活用できる戦略を学び、不確実な未来を切り開く力を身につけましょう。

2024  
12/10

【スモールサン  
ゼミ特別企画】  
公開(合同)ゼミ  
with 関東ゼミ

2025  
1/14

対話とは何か？  
—哲学から考える—



東京大学大学院  
人文社会系研究科  
教授  
納富信留氏

「対話」の必要性・重要性は今日広く社会で強調され、その推進が謳われている。だが、対話とは何であり、どんな条件が必要か、根本に立ち返って考察されることはない。本質を理解しながら対話を試みても、失敗してかえって対話への不信、言論嫌いが起こる。対話は極めて困難で、対立や批判を通じた自己変容が求められるからである。哲学からの視点で、改めて「対話とは何か」を考えてみたい。

2025  
2/12

「大喜利のお題づくり」  
で伸びる  
「答えを引き出す質問力」



エヌアラリアンス  
株式会社  
(オオギリスト)  
山本  
ノブヒロ氏

仕事に・暮らしに活かせる「オモンロの科学」第二弾。今回もビジネスや人間関係に活かせるメソッドをお届けします。業務指示や課題解決の場面で「問いかけ方」「問いの質」は、チームコミュニケーションの質を大きく左右します。お題にボケる言葉遊び=大喜利の専門家による「お題づくりワーク」を通して、「よい課題」「よい問い」づくりを学びましょう。

2025  
3/11

わざと言語とは何か  
—わざの伝承をめぐる—



田園調布学園大学  
学長  
生田  
久美子氏

「わざ」の伝承活動において目指されている「学び」が、いかなるものかを、そこで用いられている「わざ言語」に焦点を当てて考える。この試みは、「わざ」の伝承という狭い世界での「学び」の解明にとどまらず、教育を論ずる際に問題となる「学び」のあり方に対して、もう一つの「学び」の可能性を提起することにもなる。講演では事例として、芸能、スポーツ、看護、領域における独特な言語使用に注目し、「わざ」の伝承において「わざ言語」が「いかに」、「何ゆえに」有効なのか、そのメカニズム(構造)について考察したい。

2025  
4/8

最新の経済動向と  
中小企業経営



スモールサン主宰  
立教大学  
名誉教授  
山口 義行氏

常に変化する経済の最新状況と今後の見通し、そして今、中小企業は何をすべきなのか、豊富な事例を上げながらわかりやすく解説させていただきます。

2025  
5/23~24

視察ワーク  
付価値創出企業を  
観る  
—7名で始めた企業が  
なぜ100億円企業に  
なったのか—



協シックス  
コーポレーション  
石坂 敬氏

ゼミ横浜の会員でもある石坂敬氏が代表を務めた企業を訪問し、その歴史、思想、裏話などを拝聴します。



2025  
6/10

直観力(聴感力)  
を磨く  
—ピアノワーク—



ピアニスト  
音楽療法士  
三上りさ

音楽が人の情動に与える影響を感じ、感性を育むことにつながります。「音楽と心の相互作用」「音楽により感情が動く人と動かない人の違い」「悲しみや苦悩を感じさせる音楽を聴きたくなるのはなぜか」など、ピアノの生演奏を中心に身体で感じ取るワークです。

2025  
7/8

安心安全な場を  
デザインする為に  
—コミュニケーションワーク—

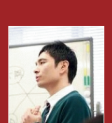


劇団衛星 所属  
俳優・ファンリ  
テーター  
Fジャパン氏

「心理的安全性」の高い場とはどんな場所なのかを言語化するためのワークショップです。

2025  
8/21

東洋哲学  
—易経と心理学—



株式会社  
コヤマオフィス  
こやまとしのり氏

易経は東洋哲学の書です。時を経て欧州へ渡り、ドイツのライプニッツは易経から二進法を読み取り、スイスの精神科医で心理学者でもあるユングも易経に触れ、筮竹で卦を立てたと言われます。その背景を通して易経の奥深さを学びます。

2025  
9/9

最新の経済動向と  
中小企業経営



スモールサン主宰  
立教大学  
名誉教授  
山口 義行氏

常に変化する経済の最新状況と今後の見通し、そして今、中小企業は何をすべきなのか、豊富な事例を上げながらわかりやすく解説させていただきます。

## 参加費

150,000円(税別)

<内訳>

スモールサン年会費

30,000円(税別)

ゼミ参加費

120,000円(税別)

※スモールサン・ゼミはスモールサン会員限定の勉強会のため、ゼミへのご参加にはスモールサン会員へのご登録が前提となります。

## 開催概要

参加期間: 2024年10月 ~ 2025年9月  
(月1回: 全12回)

開催時刻: 18:30~21:00

開催会場: 横浜市内

開催形式: スモールサン・ゼミは現地開催を前提としていますが、コロナの影響を考慮し、現地開催およびオンライン開催、両方の活用を予定しています。

1. 現地開催
2. ハイブリット開催(現地&オンライン)
3. オンライン開催
4. パブリックビューイング開催(オンライン & 会場でのパブリックビューイング)

## 申込み方法

<スモールサン非会員の方>

オフィシャルWEBサイトから  
スモールサン会員登録

下記URLまたは右記QRコードより  
オフィシャルサイトへアクセスし、  
入会案内のページから必要事項を  
ご入力下さい。

<https://www.smallsun.jp/>



事務局からの申込み受け付けメールを確認

請求書(郵送)を確認して参加費のお振込み

お振込みをもってご参加手続き完了となります。  
事務局より、毎月ゼミ開催前にご案内のメールを  
お送りいたします。

<スモールサン会員の方>

メールまたはファックスでゼミへ参加申込み

メールの場合  
件名を「ゼミYOKOHAMA参加申込み」として、下記の  
必要事項をご連絡下さい。  
参加者氏名、会社名、PCメールアドレス、電話番号  
ファックスの場合  
本紙下部の申込フォームにご記入の上、FAXにてお送り  
下さい。

事務局からの申込み受け付けメールを確認

請求書(郵送)を確認して参加費のお振込み

お振込みをもってご参加手続き完了となります。  
事務局より、毎月ゼミ開催前にご案内のメ  
ールをお送りいたします。

スモールサン会員向け申込みフォーム

氏名	
会社名	
PCメールアドレス	
電話番号	

お申込み・お問合せ

(株) 中小企業サポートネットワーク スモールサン事務局

TEL 03-5960-0227 FAX 03-5960-0228 MAIL info@smallsun.jp